



新年を迎えて成すべき事は！



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りいたします。

さて、令和6年が始まりました。冬休みはどうでしたか。立てた目標を達成できましたか。今日から3学期が始まります。いよいよ今の学年の仕上げの学期です。

ただ、大事なことは、あせらないことです。これまで、立てた目標が達成できなかった。「どうしよう」「時間がない」「みんなは力をつけている」などと思っている人が多いはず。気持ちがあせっている人、不安に思っている人、これまでずっと言ってきたことですが、実現可能な目標、小さな目標を立てましょう。そして、達成していきましょう。そうすることで力が付き、自信となり、不安は解消されていきます。

勉強も運動も一気に、力がつきません。少しずつ積み上げていく力、地道な練習や勉強を続けていく力、この力を持つことが、将来に向けて大切です。

今の時代は、色々な情報があって、色々な夢や目標を持つことができます。しかし、これまでと変わらず、大切なことは、地道な練習や学習を続けていく力です。どんな世界でも成功している人は、成功するまでも、また、成功してからも地道な練習や学習を続けています。中学校時代の頭も体も心も、何でも吸収しやすい時代に、この力を付けてほしいと思います。そうすれば、どんなに時代が変化しても十分対応できていけるでしょう。

ところで、新年になって大きな震災や事故が起きました。震度7を記録した能登半島地震では、たくさんの建物が倒壊し、また、土砂崩れや津波による浸水など甚大な被害がでました。たくさんの方が亡くなったり、けがをしたり、現在も安否が確認されていない方が数百人いると言われていています。また、羽田空港では、日本航空の飛行機と海上保安庁の飛行機が衝突をし、海上保安庁の5人の方が亡くなりました。まさに予測不能な震災や事故が起きる時代に私たちは生きていると言えます。だからこそ、「自分の命は自分で守る」ことが大切になってきます。自分の身に起こるであろう危機を予測して回避する力や危機が起きたときの命を守る行動などについて、事前に準備や対応策を考えておくこと、訓練しておくことが重要となります。羽田空港の事故では、日本航空機が燃えながら着陸をしましたが、乗務員の方の適切な指示とそれに冷静にしたがい対応した乗客の方々の行動により、379名の乗客・乗組員が全員無事に脱出することができました。この事例からは、事前の訓練とそれに基づく冷静な判断や行動が、命を守ることに繋がることがわかります。

学校では防災教育や避難訓練をさらに充実したものへとまいりますが、ご家庭でも子どもたちと真剣に地震や津波の対応策等について、ハザードマップや資料をもとに具体的に話し合っただけであればと思います。そして、共に連携して、大きな震災等が起きた時、自分の命を守る行動ができる力を付けていけたらと思います。